

LINE Things サービス利用規約

本規約は、第1条に規定する本サービスに関し、提供者である LINE 株式会社（以下「当社」といいます。）と本サービスの利用者との間で成立する契約（以下「本サービス利用契約」といいます）の内容を定めるものです。

当社は、本サービスの利用に関して生じた通信データのうち、通信回数、通信量及び通信日時に関する情報を本サービスの改善及び適正な広告配信（第三者のものも含まれます。）のために利用します。なお、分析のために、通信データを業務委託先に提供する場合があります。

第1条 定義

- 1 「本サイト」とは、本サービスを開始するに当たり、仕様等必要な情報の入手、手続き等を行う、当社が提供するウェブサイト「LINE developers」をいいます。
- 2 「本サービス」とは、利用者が本アプリを利用して、利用者又は利用者が許可した第三者が提供する商品又はサービスをワイヤレスにて操作等できるサービス「LINE Things」をいいます。
- 3 「本アプリ」とは、当社が提供する「LINE」アプリをいいます。
- 4 「利用者」とは、本規約の内容に同意した上で、当社所定の手続に従って本サービスの利用を申込み、当社がこれを承諾した者をいいます。
- 5 「利用者サービス」とは、本サービスの利用によって、利用者が本アプリ上においてユーザーに提供するサービスをいいます。
- 6 「ガイドライン等」とは、当社が当社サイト若しくは本サイト等において掲示、又はその他の方法により利用者に告知する本サービスに関するガイドラインその他本サービスに関する利用条件及び利用方法等をいいます。
- 7 「本規約等」とは本規約及びガイドライン等をいいます。
- 8 「利用者保有データ」とは、本サービスの利用に関して当社が利用者に提供するデータをいいます。

第2条 適用範囲

- 1 本規約等は、本サービスの利用に関して適用されます。なお、ガイドライン等と本規約の内容において矛盾が生じる場合は、ガイドライン等の内容が優先して適用されるものとします。また、本サイトの利用に関しては、別途利用者が同意する LINE Developers Agreement が適用されます。本サイトの利用に関して、原則として LINE Developers Agreement を優先して適用し、LINE Developers Agreement において規定のない事項がある場合には、本規約の規定を適用するものとします。
- 2 当社が必要と認めた場合は、当社は、本サイト上に修正した本規約等を掲載又は利用者に告知することにより、本規約等の内容を変更できるものとします。
- 3 変更後の本規約等は、適用日の指定がない限り、本サイト上に掲載又は変更後の本規約等を利用者に告知した時点より効力を生じるものとします。

第3条 本サービス利用契約の成立

- 1 本条は、当社に利用申込をした時より適用されるものとします。

- 2 当社は、当社所定の方法により本サービスの利用申込を受け付けた場合、当社所定の手続に従い利用の可否を審査します。当社は、利用申込提出者に対して、利用申込に対する審査結果を、当社の定める方法で通知するものとします。なお、当社は、審査基準及び審査結果の理由について開示する義務を負わないものとします。
- 3 前項に定める当該審査の通過をもって本サービス利用契約が利用者と当社との間に成立するものとします。なお、審査後において、以下の事実が発覚した場合、当社は、当該審査通過を取り消すことができるものとします。また、かかる取消によって、利用者が損害を被ったとしても、当社はなんら責任を負わないものとします。
 - (1) 過去に当社サービスの利用停止処分、その他不利益な処分を受けたことがある場合
 - (2) 利用申込の際の記入項目に虚偽の記載、誤記又は記入漏れがあった場合
 - (3) 当社所定の手続通りに利用申込を行わなかった場合
 - (4) 本サービスの本来の目的以外の目的（当社の技術の盗用、当社のユーザーからの不正な個人情報の取得を含みますが、これらに限られません。）で本サービスを利用する意図を有していた場合
 - (5) 本規約第 25 条に定める反社会的勢力である場合
 - (6) 当社と書面又は口頭にて合意していた事項に反して利用申込を行っていた場合
 - (7) 法令違反、公序良俗違反等の行為をしていた場合
- 4 利用者は、当社に利用申込書記載の利用者の情報に変更が生じた場合又は誤りを確認した場合には、当社所定の方法により、速やかに当該情報を変更又は訂正するものとします。変更又は訂正を行わないことにより、利用者が不利益を被ったとしても、当社はなんら責任を負わないものとします。

第4条 契約期間

- 1 本サービス利用契約の利用期間は、利用申込書に記載された期間とします。ただし、当社は、利用申込の審査において、記載された利用期間について修正する権利を保有するものとします。
- 2 本サービス利用契約の期間満了 1 ヶ月前までに、当社又は利用者のいずれかが、相手方に対し、更新拒絶をしない場合、自動的に利用契約は更新され、その期間は従前と同様とします。

第5条 本サービス利用料

- 1 利用者は、当社に対し、本サービスの利用の対価（以下「本サービス利用料」といいます）として、当社が別途定める金額を、支払うものとします。
- 2 利用者は、本サービス利用料を、当社が発行する請求書に基づき、請求書記載の日時までに、当社が指定する銀行口座に振り込む方法により支払うものとします。なお、振込手数料は利用者の負担とします。
- 3 利用者が本サービス利用料を期限までに支払わない場合には、完済に至るまで年 14.6%（日割計算）の遅延損害金を支払うものとします。

第6条 本サービスの利用に関する負担

- 1 利用者は、本サービスを利用するために必要となる端末機器、ソフトウェア、その他それに付随して必要となる全ての機器を、自己の責任と負担において準備及び利用し、本サービスの利用に関わる一切の通信料・インターネット接続料その他の費用を負担するものとします。

- 2 利用者は、利用者サービスに関するユーザーからの問い合わせに対応するための体制を、利用者サービスの提供に合わせて構築するものとします。

第7条 利用者サービスの審査

- 1 当社は、利用者が利用者サービスをユーザーに提供する前に、利用者サービスの審査をすることができるものとします。かかる審査において、不相当と判断された場合、利用者は利用者サービスを提供することができず、当社の指示等に基づき、利用者サービスを修正し、当社の再審査を受けるものとします。
- 2 前項に基づく審査は、利用者に対して、利用者サービスの適法性、利用者サービスの意図する目的に対する適合性、セキュリティ対策の十分性その他一切の事項についてなんら保証するものではありません。

第8条 利用停止等

- 1 当社は、利用者が以下のいずれかに該当することが判明した場合、利用者に事前通知をすることなく、利用者による本サービスの利用を一時的に停止し、又は本サービス利用契約を解約することができるものとします。
 - (1) 利用者が実在しない場合
 - (2) 利用者が当社に届け出た情報の内容が虚偽であることが判明した場合
 - (3) 本サービスを利用するために LINE 公式アカウント又は LINE@が必要な場合で、これらの利用契約が終了した場合
 - (4) 第 11 条第 1 項所定の禁止行為を行った場合
 - (5) その他利用者の利用を継続することが不適切と当社が判断した場合（例として、(i)利用者サービスが当社のサーバその他の機器等に異常な負担を生じさせ、当社の業務遂行に支障を生じさせる場合、(ii)利用者サービスがユーザーのデバイスに異常を生じさせる場合等がありますが、これらに限られません。）
- 2 当社は、前項に基づく利用停止又は解約に関し、利用者および第三者に対して責任を負わないものとします。第三者が当社に損害賠償等を請求してきた場合、利用者は当社に損害が生じないように対応しなければならず、当社が損害を被った場合には当該損害を直ちに当社に対して賠償するものとします。
- 3 本条に基づき利用者が利用停止となった場合でも、利用者は利用停止期間中における本サービス利用料の支払義務を免れないものとします。

第9条 再委託

当社は、本サービスの提供の全部又は一部を、当社が適当と判断する第三者に委託して行わせることができるものとします。

第10条 アカウント管理

- 1 利用者は、本サービスを利用するために必要となる LINE アカウントを用意するものとします。
- 2 利用者は、前項における LINE アカウントを第三者に使用させないものとします。
- 3 利用者は、自己の利用する LINE アカウントが第三者に使用されていることを知った場合には、直ちに当社にその旨を連絡するとともに、当社から指示があった場合にはそれに従う

ものとしします。

- 4 利用者は、LINE アカウントの使用および管理を自己の責任において行うものとしします。LINE アカウントでなされた一切の行為（利用者本人が関与しなかったにもかかわらずアカウント認証がなされた場合を含みます。）は、当該行為が利用者本人の行為であるか否かに係らず、利用者本人による行為とし、当該行為により利用者本人又は第三者に損害が発生した場合であっても、当社は責任を負わないものとしします。

第11条 禁止事項

- 1 利用者は、本サービスの利用において以下に掲げる事項を行ってはなりません。
 - (1) 犯罪行為、犯罪行為に結びつく行為及び公序良俗に反する行為
 - (2) 当社又は第三者の財産又は権利を侵害する行為
 - (3) 当社のネットワークシステムの正常な運用を妨害する行為
 - (4) 当社又は第三者のネットワークシステム、デバイス等に不正にアクセスする行為
 - (5) 他者が嫌悪感を抱く又は抱くおそれのある文書、画像等を配布する行為
 - (6) 上記(2)ないし(5)以外の行為で、当社又は第三者に、直接的又は間接的に、不利益又は損害を与える行為
 - (7) 事実と異なる事項を表示する行為
 - (8) 他者になりすます行為
 - (9) 法令、本規約等に違反する行為
 - (10) 上記各号のいずれかに該当する行為を助長する行為
 - (11) 上記各号のいずれかを生じさせるおそれのある行為
 - (12) 上記各号の他、合理的な理由により当社が不適切な行為と判断した行為
- 2 利用者の行為又は不作為が本条における禁止事項に該当するか否かは、当社がその裁量により判断します。また当社は、利用者の行為が禁止行為に該当すると判断した場合、利用者への事前の通知なく、当社が必要かつ適切と判断する措置を講ずることができるものとしします。

第12条 ソフトウェア等の権利帰属等

- 1 当社が本サービスの利用のために利用者に提供するソフトウェア、コンピュータプログラム、API 等（以下、総称して「ソフトウェア等」といいます）は、本サービスの利用の限度で使用を許可するものであり、当社又は当社にライセンスをしている第三者（以下「ライセンス者」といいます。）の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む）その他一切の権利についてその全部又は一部が利用者に移転するものではなく、当社又はライセンス者に帰属します。
- 2 当社は、ソフトウェア等について、その正確性、有用性、信頼性、完全性、特定の用途への適合性、セキュリティ、非侵害性、その他一切の事項についてなんら保証しません。ソフトウェア等に不具合があり、その結果利用者に損害が生じたとしても、それが当社の故意又は重過失によるものでない限り、なんら責任を負わないものとしします。
- 3 当社は、利用者に対し、本サービス利用契約期間中、利用者が本サービスを利用する目的のためにのみ、当社の指示する条件の範囲内で、ソフトウェア等を複製し、使用する非独占的かつ譲渡不可能な権利を許諾します。

第13条 ソフトウェア等に関する遵守事項

- 1 利用者は、本規約等で定める場合を除き、当社の書面による事前の承諾なく、本ソフトウェア等を複製、翻案、公衆送信（送信可能化を含む）、改造、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリング等をしてはなりません。
- 2 利用者は、当社の書面による事前の承諾なく、ソフトウェア等を第三者に販売、使用許諾（有償無償を問わない）等をしてはなりません。
- 3 当社がセキュリティ強化、脆弱性対策等の目的でアップデートを行い、利用者にアップデートの推奨の連絡をした場合には、利用者はアップデートされたソフトウェア等を利用するものとします。

第14条 第三者への責任

利用者サービスは利用者の責任で開発及び提供されるものであり、当社は、当該利用者サービスの提供又は利用に起因して利用者自身又はユーザーやその他の第三者に生じたあらゆる不利益及び損失について責任を負わないものとします。万が一当社が、利用者サービスの不具合・瑕疵、利用者サービスの違法性又はその他の事由が原因でユーザー又はその他の第三者に対して賠償責任を負うこととなった場合、利用者は当社に代わって当該賠償責任を履行するものとします。

第15条 利用者保有データの取得、利用、保管等

- 1 利用者は、利用者保有データの取得、利用、保管、削除及びその他取り扱いについては **LINE User Data Policy** に従うものとします。
- 2 当社は利用者に対し、利用者保有データとして、本サービスを利用する端末が保持する固有識別子を提供する場合があります。同一端末を異なるユーザーが利用する可能性があるため、利用者は、端末が保持する固有識別子のみを用いてユーザーを特定する行為を行ってはなりません。
- 3 利用者は、利用者保有データを受信する **Channel ID** と利用者データを利用する **Channel ID** が異なる場合、当社が定めたガイドライン等に従って対応するものとします。
- 4 利用者は、**LINE User Information**（用語の定義は **LINE User Data Policy** に準じます）には含まれない利用者が独自に保有するデータと利用者保有データを紐付ける場合、ユーザーからデータの紐付けに対して許諾を得ること及び同一ユーザーであることを担保するために必要な認証を行うものとします。
- 5 当社は、利用者の管理下にある利用者保有データについて破損、廃棄、第三者による書き換えその他の事象により利用者が利用者保有データを利用できなくなる事由が生じたとしても、何らの責任も負わないものとします。

第16条 本サービス利用契約終了後の利用者保有データの取扱い

- 1 当社は、ガイドライン等に定める期間を超えて利用者保有データを保管等する義務を負わず、利用者に何ら通知をすることなくこれを削除できるものとします。なお、利用者データは当社から利用者に提供されるものであり、当社が利用者から保管業務を受託するものではありません。
- 2 終了事由の如何にかかわらず、本サービス利用契約が終了した場合には、利用者は、**LINE User Data Policy** に基づき利用者保有データを処理するものとします。

第17条 秘密保持

- 1 本規約において「秘密情報」とは、本規約等の内容及び本規約等に関連して知った他の当事者の顧客、製品、サービス、業務、技術、ノウハウ、アイデア、コンセプト等に関する一切の情報であって、その開示方法にかかわらず、秘密情報を開示する他の当事者（以下「開示者」という。）が開示の際に秘密である旨を明示したものをいいます。ただし、下記各号のいずれかに該当する情報は、秘密情報に含まれません。
 - (1) 当該情報の開示時に公表されており一般に入手可能となっていた情報。
 - (2) 当該情報の開示後に自己の責に帰すべき事由によらずに公表され一般に入手可能となった情報。
 - (3) 当該情報の開示前から開示者に対する秘密保持義務を負わずに適法に保持していた情報。
 - (4) 正当に開示する権限を有する第三者より適法に入手した情報。
 - (5) 開示者による開示とは無関係に自ら開発した情報。
- 2 当社及び利用者は、下記各号に従って秘密情報を秘密として保持するものとします。
 - (1) 秘密情報を、善良なる管理者の注意をもって管理します。
 - (2) 秘密情報を、開示者の事前の書面による承諾のない限り、いかなる第三者に対しても開示又は漏洩してはなりません。
 - (3) 秘密情報を、本サービスの利用以外の目的で使用してはなりません。
- 3 前項第2号の規定にかかわらず、当社及び利用者は、裁判所、検察、警察及び監督官庁から適法な請求があった場合、かかる請求に応えるために必要な範囲内で、秘密情報を開示することができるものとします。また金融商品取引所の諸規則により開示が必要な場合も、当該諸規則に反しない限度で秘密情報を開示することができるものとします。
- 4 第2項第2号の規定にかかわらず、当社は、本サービスの履行のために秘密情報を知る必要がある自己の子会社又は関係会社（財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則第8条第8項に規定する関係会社と同様の意味を有するものをいう）その他の業務を委託する第三者に対して、秘密情報を開示することができるものとします。
- 5 本条の効力は、本規約の終了後においても、有効に存続するものとします。

第18条 個人情報の取扱い

当社は、本サービスの提供にあつて利用者から取得した個人情報は LINE Privacy Policy に従って取り扱うものとします。

第19条 本サービスの中断

- 1 当社は、以下のいずれかに該当する場合、本サービスの提供を中断することができるものとします。
 - (1) 本サービス用設備の保守上又は工事上やむを得ない場合
 - (2) 本サービス設備に障害が発生した場合
 - (3) 当社提携先企業や電気通信事業者がサービスの提供を中止又は一時停止した場合
 - (4) その他不測の事態により、本サービスの中断・一時停止をするにやむを得ないと当社が判断した場合
- 2 当社は、前項の規定により本サービスの提供を中断しようとするときは、当社の定める方法により、その旨を利用者に通知するものとします。但し、緊急の場合にはこの限りではありません。

ません。

- 3 当社は、本条に基づく本サービスの中断に関し、利用者及び第三者に対してなんら責任を負わないものとします。

第20条 本サービスの廃止

当社は、利用者に対し、3ヶ月前までに事前通知することにより、利用者に対してなんら責任を負うことなく、当社の裁量にて本サービスの一部又は全部を廃止させることができるとします。

第21条 非保証

当社は、本サービスについて、(i)特定目的への合目的性・適格性・正確性・完全性・信頼性・有用性を有すること、(ii)本サービスに不具合が生じないこと及び(iii)本サービスを利用することで一定の成果が生じることについて、利用者に対して、明示的にも黙示的にもいかなる保証もしません。

第22条 損害賠償

本サービスの利用に関し、当社は、故意又は重過失がない限り、利用者には責任を負わないものとします。また、当社が損害賠償責任を負う場合には、当社は、当社の責めに帰すべき行為から生じた通常かつ直接の損害に限り、利用者が当社に対して支払った本サービス利用料の総額を限度として支払いを行います。

第23条 当社による解除・解約

- 1 当社は、利用者が以下のいずれかに該当した場合には、何らの催告なしに、本サービス利用契約を解約することができるものとします。
 - (1) 本規約等に違反した場合
 - (2) 支払停止状態に陥った場合その他財産状態が悪化し又はそのおそれがあると認められる場合
 - (3) 手形交換所の取引停止処分を受けた場合
 - (4) 差押、仮差押、仮処分、競売、租税滞納処分の申立を受けた場合
 - (5) 破産手続開始、民事再生手続開始、会社更生手続開始もしくは特別清算開始の申立を受け裁判所が開始の決定をした場合、又は自らこれらの手続きの申立をした場合
 - (6) その他本サービス利用契約の継続が困難であると当社が合理的に判断した場合
- 2 前項により本サービス利用契約が解約された場合、利用者は、本サービス利用契約終了日までの本サービス利用料等の未払分を直ちに支払うものとします。
- 4 当社は、本条に基づき本サービス利用契約が終了した場合でも、当該利用者及び第三者に対して責任を負わないものとします。

第24条 利用者による解除・解約

- 1 利用者は、当社に対し、1ヶ月以上前までに書面をもって解約の通知をすることにより、本サービス利用契約を解約することができるものとします。
- 2 前項により本サービス利用契約が終了した場合、利用者は、本サービス利用契約終了日までの本サービス利用料等の未払分を直ちに支払うものとします。なお、月の途中で終了する場合には、終了日が属する月の日数をもって日割計算とします。

第25条 反社会的勢力の排除

- 1 利用者及び当社は、自己又はその代表者、役員、実質的に経営権を有する者、従業員、代理人又は媒介者（以下「関係者」といいます）が、現在、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治活動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団又はこれらの者と密接な関わりを有する者若しくはこれらに準じる者（以下「反社会的勢力」といいます）のいずれにも該当しないことを表明し、かつ、将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。
- 2 利用者及び当社は、自ら又はその関係者が、直接的又は間接的に、以下の行為を行わないことを確約するものとします。
 - (1) 暴力的な要求行為
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3) 取引に関して、脅迫的な言動（自己又はその関係者が反社会的勢力である旨を伝えることを含みますが、これに限りません）をし、又は暴力を用いる行為
 - (4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて当社の信用を毀損し、又は当社の業務を妨害する行為
 - (5) その他前各号に準じる行為
- 3 利用者及び当社は、相手方が前二項に定める表明事項又は確約事項のいずれかに違反することが判明した場合、何らの催告を要することなく本サービス利用契約を解約することができます。かかる解除に起因して相手方に何らかの損害が生じた場合であっても、解約した当事者は、相手方に対し、何ら責任を負わないものとします。

第26条 譲渡禁止

- 1 利用者は、本サービス利用契約に基づく権利及び義務を、第三者に譲渡、貸与等することはできないものとします。
- 2 当社は、利用者に通知することにより、本サービス利用契約に基づく権利及び義務を譲渡、貸与等することがあるものとし、利用者はこれを予め承諾するものとします。

第27条 準拠法及び管轄裁判所

本規約は日本法に基づいて解釈されるものとし、本規約又は本サービスに関連して、利用者と当社の間で紛争が生じた場合は、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

制定日 2018年6月26日